

| テーマ |

跳躍

[View of This issue]

01 フロー／ゾーン

● 理事・副学長(広報・情報・国際担当) | 松岡 守

[特集 / 三重大学特別企画]

02 サッカー日本代表前監督

岡田武史氏『トークセミナー』

〈信念・決断・挑戦〉～人が輝くとき～

● サッカー日本代表前監督 | 岡田武史

[RESEARCH FRONT]

07 カナダ先住民の

現代の生活世界を読みとく

● 人文学部准教授 | 立川陽仁

09 「運動による健康づくり」と

「運動を広める人材づくり」を推進。

● 教育学部准教授 | 重松良祐

11 本学独自の人工染色体技術により、

マラリア耐性遺伝子の同定に挑む。

● 大学院医学系研究科准教授 | 岩永史朗

13 人のような運転を行う

自動走行する乗り物の実現を目指して。

● 大学院工学研究科准教授 | 早川聡一郎

[CLOSE-UP Interview]

15 魚たちを分類し

この地球に生きた証を記録するために。

● 大学院生物資源学研究科教授 | 木村清志

[連載] CHRONICLE OF MIE VOL.7

17 【文学編】

神島を舞台に。三島由紀夫の小説『潮騒』。

● 人文学部教授 | 尾西康充

19 【美術編】

「涅槃図(ねはんず)」

● 教育学部教授 | 山口泰弘

21 TOPICS

22 2010年6月～12月 三重大学の主な出来事



フロー／ゾーン

理事・副学長(広報・情報・国際担当)

松岡 守

中学校でロボット作りの授業を行うと生徒が制作に極端に熱中する場合があることが知られています。放課後に自主的に集まって作業を続け、先生が、もう帰らなさい、と言っても帰ろうとしない「下校拒否」、教育困難校で当初は乱暴に取り扱っていた自分たちのロボットを大事に扱うようになるだけでなく、トイレの扉も丁寧に開け閉めするようになり、さらには学校全体の風紀まで改善されたという報告もあります。これは心理学者のチクセントミハイが論じた「フロー状態」になったことによると考えられます。フロー状態になることで高密度の学びが実現し、それがいろいろな面で良い結果につながったのでしょう。

フロー状態はスポーツの世界では「ゾーンに入る」と言いますが、サッカー日本代表チームがゾーンに入っていたことを本学で開催したトークセミナーの中で岡田前監督が披露されました。高所にも関わらず走り回り、多くの人に感動を与えたスーパープレイは確かに異空間に入り込んだ人達の技だったような気がしてきます。

高い効果を持つフロー／ゾーンは、学びやスポーツに限ったものではなく、研究、さらにはより一般的なプロジェクトにも起こり得ます。それをどのようにいろいろな場面で引き起こせるものなのか、私にはこの点が一番心に響いたトークセミナーでした。今回の特集記事をご覧になって皆様はいかがでしょうか。

まつおかまもる
工学博士

専門分野は、技術教育、知財教育、放電工学



特集 / 三重大学特別企画

サッカー日本代表前監督

岡田武史氏『トークセミナー』

〈信念・決断・挑戦〉～人が輝くとき～

2010年12月12日、三重大学では

三重大学特別企画としてサッカー日本代表前監督・岡田武史氏をお迎えし、

三翠ホールにおいてトークセミナーを開催しました。

2010FIFA ワールドカップ南アフリカ大会において、

日本代表をベスト16へ導いた前監督のチームづくりへの信念や決断の背景、

高い目標への挑戦など、熱い想いを語っていただきました。